

令和8年度 第2回 浜松市立亀玉中学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和8年7月13日(月) 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 浜松市立亀玉中学校 会議室
- 3 出席委員 山下恭幸、森田智佳、森島しのぶ、西尾孝治、守田亜紀、泉美穂
- 4 欠席委員 藤原修、伊藤祐司
- 5 オブザーバー 柊通安(亀玉協働センター)
- 6 学校支援コーディネーター 堀内康博
- 7 学 校 杉浦有美子(校長)、鈴木亮(教頭)、下田由実(教務主任)、
新川優子(CS ディレクター)
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 新川優子(CS ディレクター)
- 10 協議事項
(1)1学期の様子について・学校評価アンケートより(杉浦校長・鈴木教頭・下田教諭)
(2)2学期以降の運営について(鈴木教頭)
(3)職場体験について
- 11 会議の記録

鈴木教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり過半数に達しているため、浜松市学校運営協議会規則(以下「規則」という。)第14条第2項の規定により、会議が成立している旨の報告があった。熟議に先立ち、校長挨拶、2つのグループに分かれて生徒会役員との意見交換を行った。

・生徒会役員との意見交換

地域の方から見た亀玉中学校や地域の考える目指す学校の姿・生徒の姿について話し合った。

○祭りや防災訓練を通して中学生と地域との関わりがある。挨拶や資源回収でも交流はある。
中学生の防災訓練の参加率は高く、大人の立場として動いている。しかし、祭りや防災訓練では、担当者しか中学生と話をする機会がなく、もっと地域との関わりを持ってほしいとの意見もあった。

○中体連の夏季大会を頑張っている。

○いずれ地元で活躍できる人になってほしい。

○協働センターの中学生向け企画の参加率が低い。活動自体を知らない生徒が多いので、生徒会で活動を広めていく。また、生徒会から企画を提案してほしい。

○生徒会で学校を盛り上げてくれる活動をしている。

(1)1学期の様子について・学校評価アンケートより

杉浦校長から1学期の様子と教育活動について報告があった。修学旅行や野外活動をはじめとする活動は大きな問題なく終了した。鈴木教頭からは6月末時点でのいじめの認知件数と不登校生徒数の報告があった。全学年で数名の不登校生徒がいるものの、校外も含め、いずれかの教室への出席が確認できている。

9月以降の休日の部活動の地域展開について、吹奏楽部で検討中を除いて、他は方向性が決定している。

続いて、市アンケートの結果から、本校生徒のスマートフォン・タブレットの使用時間が長いこと、人との交流が少ないことが問題点として挙げられた。

○いじめと不登校に関連のあるものは発生していないか。(山下副会長)

●関連した場合には、市教委とも連携しながら進めなくてはならない。今のところの調査では関連には至っていない。不登校生徒は複合的な理由があると考えられる。絶対ではないので、ケアはしていきたい。(杉浦校長)

○9月からの部活動の体制は？(山下副会長)

●野球の場合、はまクル、クラブの立ち上げ等があり、生徒が選択する仕組み。地元でもできる体制を作っている。(杉浦校長)

○中学校単位ではなくなるのか。(山下副会長)

●生徒が選択をする。平日は学校での部活動を継続する。すでに野球部は合同チームで活動している。生徒数の減少により、部活動が成り立たなくなっている。(杉浦校長)

○進路希望はもう取っているか。高校も特色を考えてほしい。(西尾委員)

●現段階では、公立の方が多い。昨年度は最終的に私立の方が多くなった。工業や農業は公立で専門性がある。(杉浦校長)

○学校教育目標に関連して、大学まで視野に入れた進路学習をしているのか。(山下副会長)

●大学までは入っていないが、どんな生き方をしていきたいのか考えさせている。(杉浦校長)

次に教務主任の下田教諭から学校評価アンケートの結果を見ながら、説明があった。

「マイテーマ学習」が将来を見据えたものにつながるようどう指導していくかが課題となっている。

○学校評価アンケート結果を見ると、生徒、保護者、教師でギャップがある。(山下副会長)

●教師は厳しくなりがち。(下田教諭)

○質問項目に「生徒は、社会の一員として～」とある。既に社会の一員であることを認識してほしい。(森田委員)

○相談できる人がいないと回答した子は少ないが、数%いることは心に留めて対応してほしい。(森田委員)

(2) 2学期以降の運営について(鈴木教頭)

2学期の主要行事について説明があった。

また、正門前の道路拡張工事(7月末～9月)、体育館横のトイレの洋式化(夏休み)の2件の工事が計画されている旨の説明もあった。

○防災オリンピックを今年はどのように実施していくか。以前はグループごとに分かれて学習していた。(守田委員)

●起震車や煙の体験ができればいい。(泉委員)

○マンホールトイレの講話は毎年実施してほしい。(森田委員)

(3) 職場体験について(堀内コーディネーター)

昨年資料をベースに調整中。新たに4つの施設で受け入れが可能かもしれない。引き続き、調整を進め確定していく。

12 その他報告項等

・自転車のマナーについて(守田委員)

飛び出しや安全確認せずに横断など、危険な運転を見掛けることがある。命を大切にほしい。学校にも指導をお願いしたい。

・鹿玉協働センター(花オブザーバー)

夏休み期間にふれあい活動や自習室開放をしている。

・今後の予定

司会から、次回会議は、令和8年12月14日(月)13時30分から開催する旨の報告があった。